

事業報告書

自 令和 3 (2021) 年 4 月 1 日

至 令和 4 (2022) 年 3 月 31 日

倉敷市中央 1 丁目 4-11

公益財団法人 倉敷民芸館

■ 事業の状況

(1) 工芸品の収集展観

① 開館状況

開館日数 240日(休館125日)

臨時休館 83日

(新型コロナウイルス感染拡大防止期間 5/18(火)～6/20(日)、8/27(金)～9/12(日)、9/15(水)～26(日)

大雨警報 7/8(木)、9(金)10:30～、
8/12(木)10:30～、13(金)13:30～、14(土)、15(日)

エアコン取替工事 2/22(火)～25(金)、27(日)

展示替期間 4/20(火)～23(金)、11/30(火)～12/2(木)

開館時間 4月1日～8月26日、9月14日、11月1日～3月31日 9:00開館、17:00閉館
9月28日～10月31日 10:00開館、15:30閉館

② 入館状況 P.5(別表1)

月別・年間入館者実数 5,474名

入館者別入館料収入 4,809,920円

③ 展観状況

常設展示 岡山の民藝品、李朝のやきものと木工品、
世界各地の金工品、籠、家具、島根と鳥取の焼き物

企画展

祈りの周辺

R2年11月20日(金)～R3年4月18日(日)

倉敷民藝館所蔵《十一面観音像》ほか石工品や紙工品を中心に約250点を展示

特別企画展

もうひとつの芭蕉布物語～芭蕉布織物工房の仕事～

R3年4月24日(土)～5月16日(日)

※5月30日(日)までの会期を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止期間の臨時休館の為、繰り上がった。

芭蕉布織物工房所蔵の芭蕉布を中心に館蔵品を合わせた約150点を展示

<関連企画>

平良美恵子氏によるギャラリーツアー&トーク

R3年4月24日(土) 10時00分～11時30分

4月26日(月) 10時00分～11時30分

13時00分～14時30分

4月27日(火) 10時00分～11時30分

13時00分～14時30分

平良美恵子氏に、芭蕉布と倉敷のつながり等についてお話しいただき、50名が参加した。

芭蕉糸づくり体験ワークショップ

R3年4月25日(日) 10時00分～11時30分

13時00分～14時30分

15時00分～16時30分

平良美恵子氏を講師に迎え、芭蕉布に使用する糸づくり体験を開催し、24名が参加した。

企画展

かごとガラス

R3年6月4日(金)～11月28日(日)

倉敷民藝館所蔵のガラス、かごなどの編組品を中心に約250点を展示

<関連企画>

平松竹細工商店・平松幸夫氏による竹細工体験(四海波かご)

R3年7月25日(日) 9時30分～11時30分 午前の部
13時30分～15時30分 午後の部

平松幸夫氏を講師に迎え、四海波かごを製作する竹細工体験を開催し、12名が参加した。

須浪亨商店・須浪隆貴氏によるいかご編み体験

R3年10月24日(日) 10時00分～11時30分 瓶かごの回
13時00分～14時30分 鍋敷きの回

須浪隆貴氏を講師に迎え、瓶かご・鍋敷きを製作するいかご編み体験を開催し、12名が参加した。

館職員による風鈴づくりワークショップ

R3年8月11日(水)、12日(木)、17日(火)、18日(水)、19日(木)、24日(火)
各日11時00分～、14時00分～

ガラスのパーツを組み合わせて風鈴を製作するワークショップを開催し、4名が参加した。

展示会

倉敷本染手織会作品展

11月2日(火)～7日(日) 於:倉敷民藝館特設ギャラリー
1953年創立「倉敷本染手織研究所」の卒業生および研究生による作品を展示・販売した。

企画展

李朝の工芸

会期Ⅰ R3年12月3日(金)～R4年5月29日(日)
会期Ⅱ R4年6月3日(金)～11月6日(日)
倉敷民藝館所蔵 《四瞳猛虎鶴図》他、陶器、木工品など約250点を展示

<関連企画>

民画の展示替え

所蔵民画約70点を会期中適宜入替展示した。

売場にて韓国工芸品(巧藝舎)を展示即売

半閉櫃(バンドチ)、陶磁器(水滴、蓋付壺など)、真鍮スプーン、刺繍、木工品、紙工品などを販売した。

- ④ 調査・研究 所蔵品、書籍のデータベース化およびデジタルアーカイブ化の継続実施
- ⑤ 収集状況 倉敷ガラス丸瓶など15点、倉敷はりこ7点、虫明焼ぐい呑み2点、船木研兒カップ&ソーサー2点、芹沢銈介絵葉書セット4点、型染カレンダー1点
- ⑥ 寄付

	品名	作者	数
現物	芭蕉布タペストリー 板敷き浜	芭蕉布織物工房 作	1
〃	ガラスコップ	山下理恵	8
〃	顔認証サーマルデバイス スライト一式		1
〃	テーブルセンター	倉敷本染手織	1
〃	本『続 民芸遍歴』	外村吉之介	1
〃	本『民芸叢書第六篇 岡山県の民芸』		1
〃	本『工藝』	柳宗悦	1
〃	本『手仕事の日本』	柳宗悦	1
〃	雑誌『工藝』92号		1

〃	雑誌『工藝』120号		1
〃	刺子大風呂敷	田中千代子ほか	1
〃	刺子風呂敷	倉敷民藝教室生	1
〃	刺子あずま袋	徒	1
〃	本『倉敷うちそと』		1
〃	アダンの菴		1
〃	くばおうぎ		2
〃	パーキ		1
〃	堀越窯のこんにやく鉢		1

現金 寄付金合計 5,641,976 円 (内 コロナ関係補助金 4,277,752 円)

(4) 目的を達成するために必要な事業

1 倉敷民藝館賞事業

第14回倉敷民藝館賞を沖縄県の芭蕉布織物工房に贈呈。

当初、贈呈式および受賞記念展示即売会をR3年3月中に予定していたが、R2年3月12日開催の令和元年度第2回理事会において館賞の開催間隔が3年に1度に改定されたため、および新型コロナウイルス感染拡大防止のため贈呈式をR3年4月24日に、展示即売会を4月24日～30日に延期した。受賞を記念して、特別企画展「もうひとつの芭蕉布物語～芭蕉布織物工房の仕事～」をR3年4月24日～5月16日に開催した。

2 普及事業

- (1) 民藝関係の図書、中・四国地方で生産された民藝品、歴代の倉敷民藝館賞受賞者の作品、企画展に関連した民藝品を販売。
- (2) 7月17日(土)、11月20日(土)に開催した民藝市場において、民藝普及のため、民藝品製作を志し、勉強中の作り手による民藝品および愛好者が蔵する民藝品(陶磁器・ガラス・染織品・木工品・漆器・金工品・紙工品・編組品など)を展示・販売。
- (3) 企画展「祈りの周辺」の共同企画として11月20日～R3年4月18日の間、倉敷考古館との共通入館券を作成し、会期中合計73名の入館があった。
- (4) 倉敷考古館企画展「吉備の鬼がたり」に大原焼鬼瓦1点を無料貸出。会期R3年10月6日(水)～R4年2月27日(日)。
- (5) 愛媛民藝館「愛媛民藝館・五百亀記念館・西条郷土博物館三館連携展 クラレ創業家大原家と西条と民藝作家たち」に濱田庄司作品3点、五百亀記念館「棟方志功展 板画でしか生まれない魂の美～西条市との出会い～」に棟方志功作品21点を無料貸出。両展とも会期R4年1月29日(土)～3月27日(日)。

3 美観地区への観光客誘致のための各種の行事

- ・倉敷屏風祭は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2021年の開催は中止
- ・第19回倉敷雛めぐりは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、規模を縮小して実施されたが不参加

4 建物修復

- ・1、2号館 木製建具硝子コーキング改修工事 R4年5月31日(月)～6月1日(火)
- ・3号館 いろいろの部屋エアコン取替工事 R4年2月21日(火)～28日(日)

5 倉敷民藝館 建物修繕募金

建物の修繕に対し、受付横に募金箱を設置中

■ 事業の状況

(1) 役員に関する事項

(令和3年度末現在)

役職名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤の別	手当
理事長	大原 謙一郎	R2. 6. 16	非	無
常務理事	山本 俊夫	R2. 6. 16	非	無
理事	金光 章	R2. 6. 16	非	無
	檜村 徹	R2. 6. 16	非	無
	大橋 宗志	R2. 6. 16	非	無
	大原 あかね	R2. 6. 16	非	無
	守安 収	R2. 6. 16	非	無
監事	中野 修一郎	H30. 6. 12	非	無
	嶋井 省三	H30. 6. 12	非	無
評議員	神谷 和孝	H30. 6. 12	非	無
	小谷 眞三	H30. 6. 12	非	無
	小林 融子	H30. 6. 12	非	無
	小柳 晃	H30. 6. 12	非	無
	水野 昌子	H30. 6. 12	非	無
	香川 俊樹	H30. 6. 12	非	無
	岡 莊一郎	H30. 6. 12	非	無
	虫明 優	H30. 6. 12	非	無
	森川 政典	H30. 6. 12	非	無
	谷一 尚	R1. 6. 7	非	無
	藤森 徹	R1. 6. 7	非	無

(2) 役員会に関する事項

名称	開催年月	議事事項	会議の結果
令和3年度 第1回理事会	R3年5月20日 (書面決議)	【議案1】 令和2年度事業報告書および収支決算書の承認について	議案のとおり議決
		【議案2】 定時評議員会開催について	議案のとおり議決
令和3年度 第2回理事会	R4年3月15日	【議案1】 令和4年度事業計画書(案)および収支決算書(案)について	議案のとおり議決
		【議案2】 第15回倉敷民藝館賞について	議案のとおり議決
令和3年度 第1回 定時評議員会	R3年6月8日 (書面決議)	【議案1】 令和2年度事業報告書および収支決算書の承認について	議案のとおり議決

(別表1) 入館者別入館料収入 (入館料収入合計から見た入館者実数)

区分	料金	入館者数	入館料	(前年度入館者数)
特別展大人 個人	1,300	377	490,100	
割引	1,100	48	52,800	
特別	700	2	1,400	
大人 個人	1,000	3,213	3,213,000	(2,797)
割引	800	569	455,200	(458)
特別	500	91	45,500	(80)
大人 小計		4,300	4,258,000	(3,335)
ぐるりんパス		210	353,020	(160)
小人 個人	300	139	41,700	(152)
団体	200	0	0	(42)
割引	200	7	1,400	(4)
特別	200	2	400	(0)
小人 小計		148	43,500	(198)
ぐるりんパス		4	5,000	(0)
学生 個人	400	376	150,400	(304)
団体	250	0	0	(47)
割引	250	0	0	(0)
特別	250	0	0	(1)
学生 小計		376	150,400	(352)
ファンクラブ	0	68	0	(51)
協会員	0	110	0	(130)
無料	0	258	0	(184)
入館者数合計 入館料合計		5,474	4,809,920	(4,410)